



2025年2月12日

各位

会社名 笹徳印刷株式会社
代表者名 代表取締役社長 杉山昌樹
(コード番号: 3958東証スタンダード市場・名証メイン市場)
問合せ先 取締役執行役員 天野利通
管理統括・管理本部長
(TEL 0562-97-1111)

2025年6月期 第2四半期(中間期) 連結業績予想値と実績値との差異及び

通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ

当社は、2024年8月9日に公表いたしました2025年6月期 第2四半期累計期間の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じました。

また、2025年2月12日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、通期(2024年7月1日~2025年6月30日) 連結業績予想値を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年6月期 第2四半期(中間期) の連結業績予想値と実績値との差異 (2024年7月1日~2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,600	百万円 180	百万円 220	百万円 150	円 銭 26.13
今期実績(B)	6,407	95	224	157	27.45
増減額(B-A)	△192	△84	4	7	
増減率(%)	△2.9	△46.7	1.8	4.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2024年6月期 第2四半期)	6,599	201	215	149	27.74

2. 2025年6月期 通期連結業績予想値の修正 (2024年7月1日～2025年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 13,100	百万円 390	百万円 480	百万円 340	円 銭 59.31
今回修正予想 (B)	12,700	200	400	280	49.15
増減額 (B - A)	△400	△190	△80	△60	
増減率 (%)	△3.1	△48.7	△16.7	△17.6	
(ご参考)前期実績 (2024年6月期)	12,953	378	535	396	71.28

3. 差異及び修正の理由

まず、当第2四半期(中間期)に関しましては、パッケージング分野は国内では菓子・食品業界を中心に堅調な需要が継続するとともに新規顧客への受注活動が売上高を下支えしておりますが、海外では中国経済の低迷により受注量が予想を下回る水準で推移いたしました。コミュニケーション分野は、情報媒体のデジタル化により、カタログやパンフレット類が低調な推移になったことや、自動車業界の新車販売延期に伴う販売促進活動が低迷したことなどにより、売上高が前回予想を下回りました。また、エネルギー価格、物流費、人件費の高騰に対する販売価格への転嫁は、顧客との良好な関係性を活かして交渉を進めておりますが、一部の顧客に遅れが生じ、利益の圧迫要因となりました。その結果、売上高、営業利益は前回予想を下回ることとなりました。

通期連結業績予想につきましては、「発想から発送までのワンストップソリューション」を推進するため、フルフィルメントサービス業務を関東エリアに拡大し、さらにエネルギー価格や諸資材価格、人件費の高騰に対しては、製品価格の適正化を引き続き進めるとともに、全社的な経費削減活動も展開しておりますが、当第2四半期(中間期)までの業績動向及び今後の見通し等を踏まえ、業績予想の下方修正を行うことといたしました。

パッケージング分野では、持続可能な素材を採用した最適な環境未来パッケージの開発を通じて販路を拡大し、コミュニケーション分野では、印刷技術とデジタル技術を融合した新たなコンテンツやビジネスモデルの提供を通じて事業構造改革を進めております。

生産面においては、基礎的な生産能力をしっかりと整備し、成長分野への人員増強と従業員のデジタルスキル向上に通じる積極的な人的投資を行い、適正な人員配置と省人化など受注内容の変化に対応した製造プロセスの最適化を進め、生産効率向上に取り組んでまいります。

さらには、外部のネットワークとAI技術を最大限に活用して更なるDX化を進め、印刷技術とデジタル技術を融合した付加価値の高い新しいサービスの創出と技術力向上に取り組んでまいります。

なお、今後の業績推移に応じて修正の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

また、配当予想につきましては、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと認識し、業績の状況や内部留保の充実等を勘案しながら安定的な配当を継続する基本方針のもと、今回の業績予想の修正に伴う配当予想の変更はありません。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的だと判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上